

目 次

略語表

要 約.....	i
第1章 評価調査の概要.....	i
第2章 フィリピン教育セクターを取り巻く社会経済環境.....	iii
第3章 フィリピン教育セクターの現状と主要課題.....	iv
第4章 日本及び主要ドナー等の援助動向.....	vi
第5章 総合評価.....	ix
第6章 教訓・提言.....	xxii
本 編.....	1
第1章 評価調査の概要.....	1
1-1 評価調査の目的.....	1
1-2 評価実施体制及び評価手順.....	1
1-3 評価調査の手法.....	2
1-3-1 評価対象.....	2
1-3-2 評価の枠組み.....	3
1-3-3 主な情報入手手段・入手先.....	5
1-3-4 本評価調査の制約.....	6
第2章 フィリピン教育セクターを取り巻く社会経済環境.....	7
2-1 人口増加の続く多文化社会.....	7
2-1-1 地理的な多様性.....	7
2-1-2 民族・宗教・言語の多様性.....	8
2-1-3 増加を続ける人口.....	8
2-2 地域間格差の問題.....	10
2-2-1 改善はしているが依然として大きい所得格差.....	10
2-2-2 マニラ首都圏とその他地域との地域間格差.....	10
2-3 安定感を欠く政治経済.....	13
2-3-1 政権の不安定が続く国政.....	13
2-3-2 国際競争力の向上と貧困削減が課題となる経済.....	13
2-3-3 赤字の続く国家財政.....	15
2-4 まとめ.....	16
第3章 フィリピン教育セクターの現状と主要課題.....	18
3-1 「三焦点化 (trifocalization)」を進める教育行政.....	18
3-1-1 教育システムの三焦点化.....	18
3-1-2 教育制度.....	18
3-1-3 教育行政の体制.....	20
3-1-4 教育計画の体系.....	21
3-1-5 教育政策上の主要な取り組み.....	22
3-1-6 二言語 (バイリンガル) 教育方針.....	25

3-2 教育セクターの現状と課題	26
3-2-1 基礎教育の現状と課題	26
3-2-2 高等教育の現状と課題	33
3-2-3 職業技術訓練の現状	36
3-2-4 学校教育の最終到達段階	39
3-3 まとめ	41
第4章 日本及び主要ドナー等の援助動向	43
4-1 教育セクターにおける世界の潮流と日本の援助方針	43
4-1-1 「万人のための教育」が打ち出された 1990 年代	43
4-1-2 EFAの実現を重視するようになった 2000 年代	44
4-1-3 現地ODAタスクフォースの形成	45
4-2 フィリピンにおける日本の援助の特徴	46
4-2-1 全体動向	47
4-2-2 教育セクターにおける協力実績	48
4-2-3 日本のフィリピンの教育セクターに対する支援の特徴	57
4-3 主要ドナー・国際開発金融機関等による援助の特徴	57
4-3-1 援助の全般的な傾向	58
4-3-2 主なドナー等の実績と特徴 ～NGOとの連携事例等～	59
第5章 総合評価	63
5-1 目標体系図	63
5-2 目的の妥当性	65
5-2-1 日本のODA基本政策との整合性	65
5-2-2 フィリピンの開発政策との整合性	70
5-3 結果の有効性	72
5-3-1 評価の枠組み	72
5-3-2 基礎教育	74
5-3-3 高等教育	87
5-3-4 中級技能開発	87
5-4 プロセスの適切性	89
5-4-1 政策協議・調整・協調に関して	89
5-4-2 スキーム、プロジェクトの選択プロセスに関して	90
5-4-3 ステークホルダーの参画に関して	91
5-5 評価のまとめ	92
第6章 教訓・提言	93
参考文献	97